



ようらん 揺籃

揺籃（ようらん）とは「ゆりかご」のことです。本校の校歌の一節に「霊の揺籃 わが母校」とあります。中条校は、生徒の皆さんにとって精神（魂）をすこやかに育む「ゆりかご」でありたいと思っています。

★ろくちゃんの森の学校について

中条校では **SBC ラジオ豊かな森林キャンペーン**の中心活動である「道の駅中条」周辺の森林活動に事業当初から継続的に参加しています。地球環境の保全に向けて里山と人のかかわりを取りもどそうというキャンペーンの考えに共感して学年単位で、生徒会役員で、有志生徒でと参加を続けています。そこでの活動が「森林の日」や「チャレンジ」の授業での様々な教育活動の原点であり、**体験的な学び**を大切にする中条校が育まれています。



5.18 くずもち作りに挑戦

★☆☆中条校でのまなびの特長

中条校では少人数の特色を生かして1学年の授業の中で、地域と関わりながら体験的な学習を行う『チャレンジ』という授業を設定しています。『チャレンジ』では①農業実習、森林整備実習を通して、地域環境を考えよう！②西山地域の歴史を学び、現代社会とつなげよう！③地域の施設等での実習を通して、新しい地域を創造しよう！を目標にさまざまな活動にチャレンジしていきます。また小中学校で基本的な学力を身につけるチャンスに恵まれなかった生徒について『ベーシック』の授業の中で自分のペースで学びなおしながら基礎基本の確実な習得を目指します。ふたつの取り組みが生徒の成長を支えています。

★1学年 学校設定科目『チャレンジ』

■5月13日、マレットゴルフにチャレンジ！  
初めての体験で、打ち方のレッスンから始まった生徒もいます。次第に力の加減がわかり、OBも減ってきます。コツをつかむと、どのグループも仲間の一打一打に「がんばれ」「すごくいいんじゃない」「ここで頑張ろう」の言葉を掛け合う、楽しく穏やかな雰囲気になりました。



■5月20日、きのこの駒打ち体験！



★少人数で取り組むベーシックの授業

中条校では「ベーシックⅠ」「ベーシックⅡ」「ベーシックⅢ」の授業をカリキュラムに位置づけています。他の高校では設定がありません。それぞれの生徒が学習に困難を感じた小中学校の時点に戻って基礎基本に前向きに取り組んでいます。

◎5月21日  
この春入学した生徒の出身中学校の先生方との情報交換の会を行いました。授業参観や卒業生一人一人との懇談を通して生徒たちの成長を実感していただきました。

先生方のご感想より

久しぶりに会う機会でも楽しみにしていました。二人の「楽しい！」「友だち出来たよ」の言葉に泣きそうです。

少人数なのでちょっとしたつぶやきも先生が拾い上げてくれて「いいな」と感じました。

サーブを受けて転んだ生徒に相手コートからも「大丈夫～？」の声がかかり、優しい子たちだなと思いました。

中学時代とは別人！ほとんど気持ちを外に出さなかったのに、体育の授業で他の生徒を励ましている姿にとっても感動しました。

